

代表質問(要旨)

事業所の地球温暖化対策は

簡易型環境マネジメント システムを検討

議員(民主) 茨城空港、常陸那珂港の需要開拓は最優先事項であり、これに従事する職員が当事者意識を持って仕事に取り組み人事体制が必要と考えるがどのように進めるのか。

知事 「庁内公募」等により意欲と適性のある職員を配置し、業務の継続性確保のために長く従事させ、実績をあげた場合は高く評価して、責任と意欲を持って仕事に取り組めるような人事配置に努めていく。

議員 県では地球温暖化対策として

てエコ事業所登録制度を実施中だが、これを発展させ、中小事業者にも取得しやすい簡易な環境マネジメントシステムを構築するべきである。また、環境配慮契約法成立を受けて、本腰を入れて公用車を低公害車に更新しなければならぬがどう進めるか。

知事 今後、現行制度に加え、ISOなどを参考によりステップアップしたシステムを併用した簡易型の環境マネジメントシステムができるかどうか検討する。公用車等からの環境負荷低減について

は、現在国が基本方針を策定中であり、これを踏まえ県の方針を作った上で低公害車への更新を進める。なお、知事公用車については次回更新時には、低公害車の採用を検討したい。

議員 医師不足は全国的に深刻である。他の都道府県も危機感を持って確保対策をしている中で同じ事をしていても集まらない。退職医の人材バンクを創るなど新しい施策を果敢に打ち出すべきと考えるが。

知事 後期研修医奨励金など



茨城県医師確保支援センター
http://www.pref.ibaraki.jp/ibukiyoku/hoken/isei/ishakakuho/top/index.html
茨城県では地域医師の確保を図るため、平成18年4月より医師確保支援センターを開設し、各専攻科を総合的に支援しています。

医師確保支援センター(平成18年4月開設)

医師 研修医 医学生

地域医療の推進・充実

医師 研修医 医学生

医師確保支援センター doctor
事務局：茨城県 医師確保支援センター 医師確保支援センター
〒310-8501 茨城県水戸市大町1-1-1 電話 029-130-1318 FAX 029-301-1319
E-mail: doctor@doctor.pref.ibaraki.jp

ど全国に先駆けた施策を実施しており、研修医が増加していることなどから徐々に効果が出ていると考える。退職医の活用は大切な視点であり、今後は退職予定医師にもアイ・ドクター制度への登録を働きかけていく。

(ほかに、道路の安全性確保、交番・駐在所の再編なども質問)

退職医もアイ・ドクター制度に登録へ

県民の声が反映された県政実現のためには

コンビニに提案用カードなどを配置

議員(自民) 真に県民の声が反映された県政実現のためには、広報広聴活動の充実が必要だ。これまでの広報広聴活動についての成果をどのように認識し、また、今後どのように充実していこうとしているのか。

知事 広報広聴活動については、県政世論調査の結果などから一定の成果を上げてきたと認識している。今後、提案の対話集会の休日開催などを検討するとともに、新たにコンビニに提案用カードや広報誌を配置するなど、広報広聴活

動のさらなる充実強化に努める。

議員 圏央道の整備は、企業誘致推進のためにも必要だ。また、県西地域住民の悲願でもある。しかし、隣接区間は用地買収が進んでいないのに、(仮)境ICから(仮)猿島岩井ICまでは、未だに用地買収も始まっていない。この区間を含めた圏央道の整備見直しは。

知事 (仮)境ICから(仮)猿島岩井ICまでの区間は、道路設計が完了したことから、今年秋に用地幅杭設置や用地測量を行う予定である。今後、着実な整備促進が

図られるよう、地元関係市町村と連携を図りながら、国等へ働きかけていく。

議員 医師不足の中でもより深刻なのは、小児科と産婦人科の医師不足であるが、県のこれまでの対応は、小児科医と産婦人科医不足の解決を主眼としたものではなかった。当面の緊急避難的な対応も含め、どのように取り組むのか。

知事 当面の対応については、各医療機関から医師確保の相談があった場合に、県関係の人的ネットワークを最大限活用し、積極的に支援していきたいと考えている。また、中期的な対応としては、研修医に奨励金を支給したり、



整備が進む圏央道(境ICから猿島岩井IC区間)はこの秋に用地測量が予定されている

研修医を受け入れた病院に、指導経費などを助成していく。(ほかに、工業団地の販売力強化や児童生徒の心の問題なども質問)

県央地域でのドクターヘリの配備はできるだけ早期に検討

議員(公明) がん対策における放射線治療や化学療法は、外科的治療ができない場合の二次的治療等との誤解がある。県立中央病院でのリニアックの増設は評価するが、専門医の確保が課題である。これを踏まえたがん対策の推進を伺う。

知事 放射線治療等の専門医などの確保のため、人件費等の補助制度を創設したほか、県立医療大学に医学物理士養成コースを開設した。医療従事者の理解促進、県民への情報提供を進めるとともに、第二次茨城県総合がん対策推進計画に具体的な推進方策を盛り込む。

議員 高度な救命を担う三次救急医療体制の整備は県政の最優先課題だが、医療機関は県南部に偏在している。水戸済生会総合病院及び日立総合病院における整備の進捗状況を伺う。また、医療機関の偏在や医師不足、原子力防災や地震等の対応策として県央地域でドクターヘリの早期配備とその拠点病院整備を図るべきかどうか。

知事 水戸済生会総合病院は、地域救命センターとして昨年度に医療機器等を整備した。日立総合病院では、現在関係者と用地問題等、調整を進めており、早期整備着手に向け支援していく。ドクターヘリの配備は、経費等の課題はある

が、できるだけ早く検討する。

議員 農業の再生のため、県は農業分野の構造改革を進める牽引力となる必要があるが、農家への説明不足、不安解消策の不足が目立つ。品目横断的経営安定対策導入の現状と評価、今後の農業活性化策を伺う。

知事 麦・大豆は、ほぼ目標どおりの面積だが、米は緒に就いたところであり、農地の利用集積を進める。制度の理解を進め、小規模農家に不安や誤解がないよう努める。農業活性化に向け、集落営農の組織化のほか、認定農業者や新規就農者の育成等を推進する。(ほかに、核廃絶の基本認識、格差是正なども質問)



ドクターヘリの活動の様子